

令和4年度

赤穂市観光客動態調査報告書



きらきら坂

(一社) あこう魅力発信基地・赤穂市

はじめに

この調査は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間に赤穂市を訪れた観光客を把握し、今後の宣伝活動や受入体制整備等を推進するための資料として集計したものである。

各項目の数値は、観光施設や宿泊施設などからの報告をもとに集計したものであり、把握の出来ないところ（無人で解放されている施設：海岸・トレッキングなど）については含んでいない。また、1回の旅行過程で複数の観光施設に入込んだ観光客については、延べ人数で計上している。

目次

年度別の赤穂市観光客入込数調査

1 形態別入込数	2
2 目的別入込数	4
3 観光客入込動向の分析	6

参考資料

令和4年度兵庫県観光客動態調査結果	13
-------------------------	----

年度別の赤穂市観光客入込数調査

1 形態別入込数

項目		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
		入込数		入込数		入込数		入込数	
		千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比
総入込数		1,503	100%	1,500	100%	1,542	100%	1,462	100%
日帰り ・ 宿泊 別	日帰り客	1,243	83%	1,210	81%	1,226	80%	1,153	79%
	宿泊客	260	17%	290	19%	316	20%	309	21%
	宿泊客のうち施設別								
	ホテル・旅館	216	83%	244	84%	266	84%	259	84%
	公的宿泊施設	11	4%	12	4%	13	4%	13	4%
寮・保養所	1	1%	1	1%	1	1%	0	0%	
その他（キャンプ等）	32	12%	33	11%	36	11%	37	12%	
居住地別	県外客	571	38%	600	40%	632	41%	629	43%
	県内客	932	62%	900	60%	910	59%	833	57%
	（県内客のうち市民）	316	—	315	—	324	—	278	—
利用交通機関別	J R	226	15%	210	14%	231	15%	205	14%
	貸切バス	90	6%	90	6%	93	6%	88	6%
	自家用車	1,097	73%	1,125	75%	1,141	74%	1,111	76%
	その他（タクシー等）	90	6%	75	5%	77	5%	58	4%

* 居住地別及び利用交通機関別の項目中、観光客の入込数及び比率は調査回答の内容による推定値である。

平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		前年度
入込数		入込数		入込数		入込数		入込数		入込数		対比
千人	%	千人	%	千人	%	千人	%	千人	%	千人	%	(4/3)
入込数	全体比	入込数	全体比	入込数	全体比	入込数	全体比	入込数	全体比	入込数	全体比	%
1,489	100%	1,413	100%	1,500	100%	736	100%	993	100%	1,091	100%	109.9%
1,194	80%	1,135	80%	1,220	81%	539	73%	758	76%	711	65%	93.8%
295	20%	278	20%	280	19%	197	27%	235	24%	380	35%	161.7%
247	84%	242	87%	236	84%	162	82%	186	79%	255	67%	137.1%
12	4%	1	1%	10	4%	7	4%	9	4%	13	3%	144.4%
0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	—
36	12%	35	12%	34	12%	28	14%	40	17%	112	30%	280.0%
655	44%	650	46%	675	45%	327	44%	443	45%	482	44%	108.8%
834	56%	763	54%	825	55%	409	56%	550	55%	609	56%	110.7%
268	—	240	—	225	—	119	—	149	—	157	—	105.4%
208	14%	198	14%	225	15%	110	15%	143	14%	153	14%	107.0%
89	6%	99	7%	90	6%	37	5%	46	5%	43	4%	93.5%
1,132	76%	1,074	76%	1,155	77%	567	77%	783	79%	873	80%	111.5%
60	4%	42	3%	30	2%	22	3%	21	2%	22	2%	104.8%

2 目的別入込数

項目	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	入込数		入込数		入込数		入込数	
	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比
総入込数	1,503	100%	1,500	100%	1,542	100%	1,462	100%
自然鑑賞(御崎ほか)	29	2%	29	2%	27	2%	23	2%
社寺参拝(花岳寺・大石神社ほか)	79	5%	74	5%	77	5%	65	4%
まつり(義士祭ほか)	195	13%	182	12%	135	9%	134	9%
ハイキング・キャンプ(御崎)	31	2%	31	2%	34	2%	35	2%
釣り・潮干狩り	32	2%	30	2%	32	2%	28	2%
施設見学	131	9%	129	9%	132	8%	129	9%
ゴルフ・テニス	90	6%	93	6%	96	6%	99	7%
温泉	251	17%	246	16%	272	18%	258	18%
公園・遊園地	489	32%	499	33%	558	36%	508	35%
ツーリズム施設	176	12%	187	13%	179	12%	183	13%

平成28年3月	赤穂観光アクションプログラム(平成28～30年度)策定
平成28年3月	坂越大橋供用開始
平成28年8月	赤穂市周辺の特異な地質構造を「赤穂コールドロン」と命名((国研)産業技術総合研究所)
平成28年12月、29年3月	赤穂素・流・人(ソ・ル・ト)プロモーション推進事業 観光アプリ整備(12月)、観光PV制作(3月)
平成29年10月	JR有年駅橋上駅舎全面供用開始
平成30年5月	日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」追加認定

平成29年度 入込数		平成30年度 入込数		令和元年度 入込数		令和2年度 入込数		令和3年度 入込数		令和4年度 入込数		前年度 対比
千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	(4/3) %
1,489	100%	1,413	100%	1,500	100%	736	100%	993	100%	1,091	100%	109.9%
20	1%	18	1%	21	1%	7	1%	0	0%	0	0%	0.0%
57	4%	53	4%	61	4%	21	3%	18	2%	13	1%	72.2%
154	10%	175	12%	239	16%	10	1%	10	1%	50	5%	500.0%
46	3%	42	3%	33	2%	26	3%	40	4%	108	10%	270.0%
26	2%	19	1%	13	1%	13	2%	13	1%	13	1%	100.0%
138	9%	121	9%	131	9%	68	9%	76	8%	105	10%	138.2%
101	7%	87	6%	89	6%	87	12%	96	10%	100	9%	104.2%
257	17%	252	18%	228	15%	111	15%	157	16%	196	18%	124.8%
518	35%	465	33%	527	35%	337	46%	500	50%	404	37%	80.8%
172	12%	181	13%	158	11%	56	8%	83	8%	102	9%	122.9%

平成31年3月	赤穂観光アクションプログラム(平成31~33年度)策定
令和元年5月	日本遺産『「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂』認定
令和3年3月	「赤穂スイーツブック」作成
令和3年10月	赤穂版DMOの母体となる「(一社)あこう魅力発信基地」設立
令和4年1月	「赤穂スイーツブックⅡ」作成
令和4年3月	「赤穂市 観光・移住定住戦略(2022-2026)」策定
令和4年12月	赤穂義士祭忠臣蔵パレード再開

3 観光客入込動向の分析

○総入込数

令和4年度の赤穂市への観光入込客数は、令和3年度比109.9%、人数にして98千人増の1,091千人となった。

宿泊・日帰りの別では、宿泊客は前年度比161.7%、人数にして145千人増の380千人となり、直近10年間で最多となった。一方、日帰り客については前年度比93.8%、人数にして47千人の減となった。宿泊客が大きく増加した主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う行動制限が緩和され、ホテル・旅館の利用者が255千人と、コロナ前の水準に回復したこと、また昨今のキャンプブームにより、キャンプ場の利用者が前年度比72千人の増となったことがあげられる。日帰り客の減少については、コロナ禍において、人との接触が比較的少ない施設として利用されていた公園等への入込数が前年度比96千人減となったことが主な要因である。

○形態別にみた入込動向

- (1) 宿泊客が前年度比161.7%、人数にして145千人の増、日帰り客が前年度比93.8%、人数にして47千人の減となった。(表1参照)
- (2) 月別入込数を見ると、5月が前年度を大きく上回り、前年度比219.4%、人数にして74千人の増加となった一方、10月から3月の間では、ほとんどの月で前年度を下回っており、特に秋(9月~11月)の入込数は、前年度比91.1%、人数にして27千人の減となった。最も入込数が多かった季節は春(3月~5月)で、前年度比137.9%、人数にして91千人増加し、331千人となった。(表2・3参照)
- (3) 利用交通機関別では、自家用車を利用した観光客が873千人(前年度比111.5%)で全体の約80%と最も多く、次いでJRが153千人(前年度比107.0%)、貸切バスが43千人(前年度比93.5%)、その他(タクシー等)が22千人(前年度比104.8%)となっている。貸切バスの比率が低いのは、コロナ禍以降、人との接触を避ける観点から団体旅行を控える流れが継続しているものと考えられる。(表4参照)

○目的別にみた入込動向

- (1) 鑑賞型入込数は、「社寺参拝」において前年度を下回ったが、義士祭や赤穂シテイマラソンが一部復活したこと、「施設見学」についても、各施設で来場者が増加したことなどにより、全体で前年度比161.5%、人数にして64千人増加した。(表5参照)
- (2) スポーツ型入込数は、「ハイキング・キャンプ」、「ゴルフ・テニス」の入込数が共に増加したが、特に「ハイキング・キャンプ」が前年度比270%と大きく増加。全体で前年度比152.9%、人数にして72千人の増加となり、コロナ禍におけるアウトドア志向の継続がうかがえる。(表5参照)
- (3) 行楽型入込数では、「温泉」の入込数が前年度比124.8%、人数にして39千人増加したが、「公園・遊園地」の入込数が前年度比80.8%、人数にして96千人と大きく落ち込んだことにより、前年度比91.5%、人数にして57千人減となった。(表5参照)
- (4) 体験型入込数は、「ツーリズム施設」の入込数が前年度比122.9%、人数にして19千人の増加となった。(表5参照)
- (5) 目的別入込数を全体比率から見ると比率の大きなものから順に、公園・遊園地404千人(37%)、温泉196千人(18%)、ハイキング・キャンプ108千人(10%)、施設見学105千人(10%)となった。(表5参照)

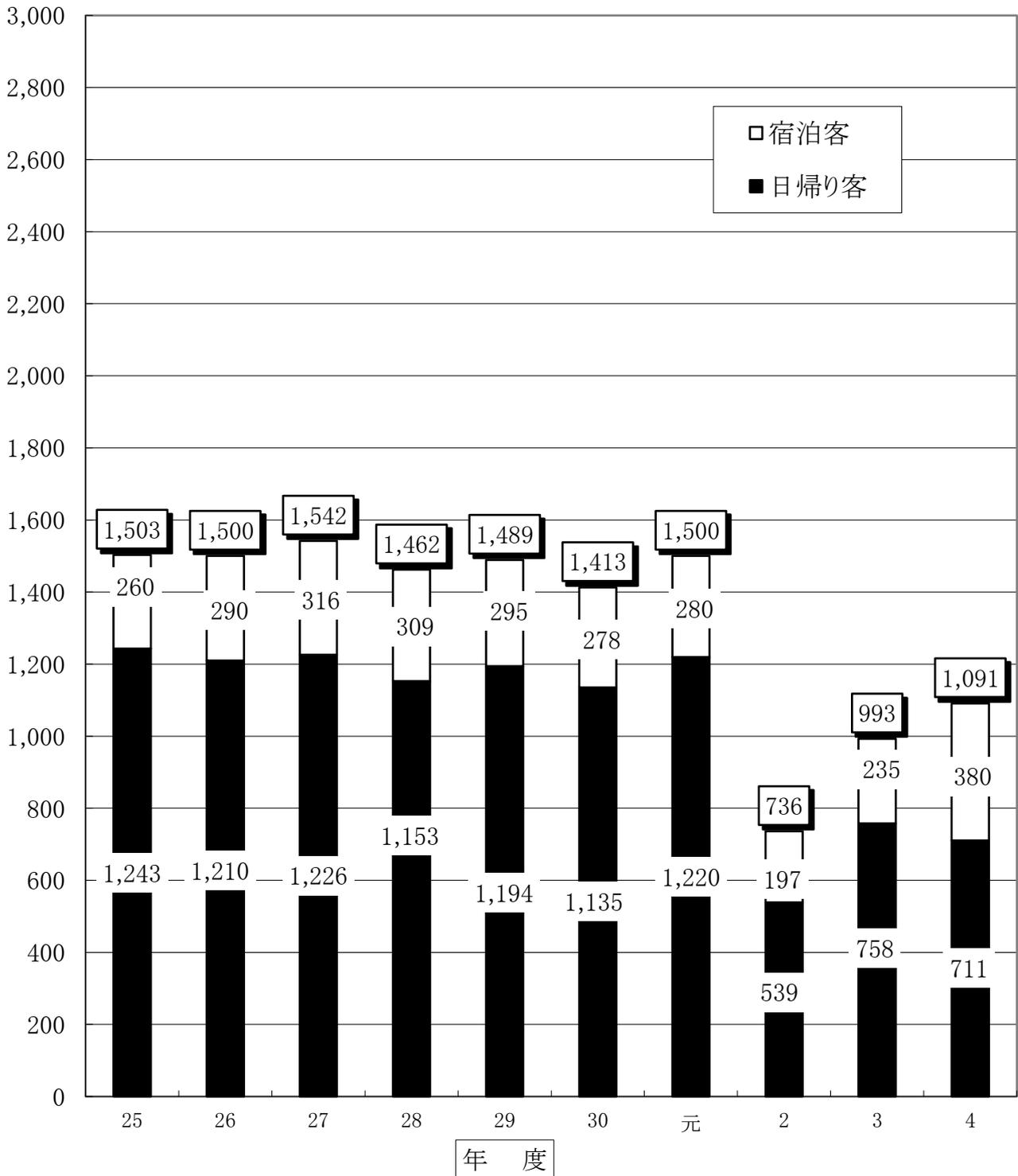
【参考】「まん延防止等重点措置」「緊急事態措置」の状況

令和2年	4月	7日	～	5月21日	緊急事態措置
令和3年	1月	14日	～	2月28日	緊急事態措置
令和3年	4月	5日	～	4月24日	まん延防止等重点措置
令和3年	4月	25日	～	6月20日	緊急事態措置
令和3年	6月	21日	～	7月11日	まん延防止等重点措置
令和3年	8月	2日	～	8月19日	まん延防止等重点措置
令和3年	8月	20日	～	9月30日	緊急事態措置
令和4年	1月	27日	～	3月21日	まん延防止等重点措置

〈表1〉

人数(千人)

観光客総入込数の年次推移

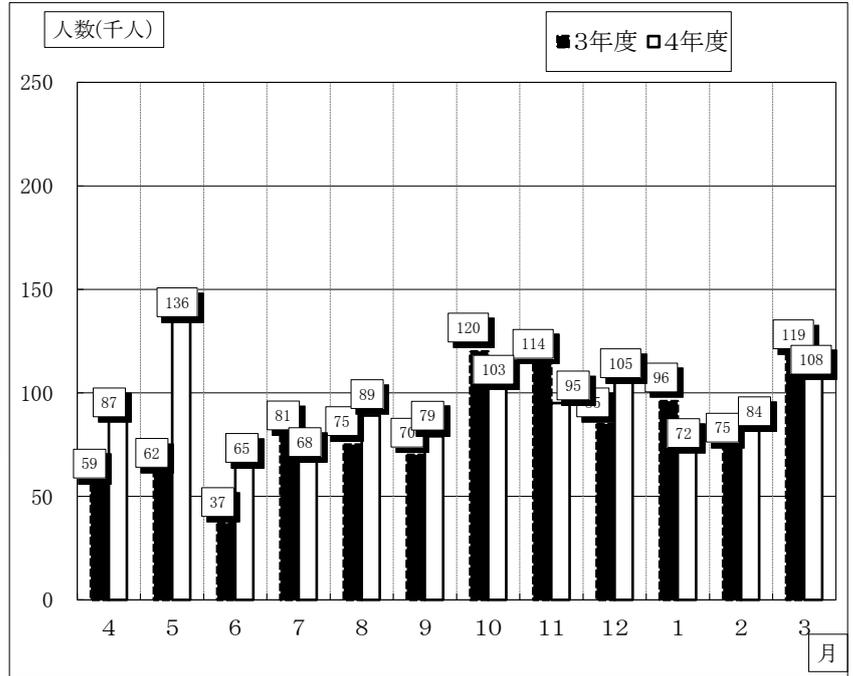


〈表2〉

月 別 入 込 数

(千人)

月	3年度	4年度	増減	対前年比
4	59	87	28	147.5%
5	62	136	74	219.4%
6	37	65	28	175.7%
7	81	68	△13	84.0%
8	75	89	14	118.7%
9	70	79	9	112.9%
10	120	103	△17	85.8%
11	114	95	△19	83.3%
12	85	105	20	123.5%
1	96	72	△24	75.0%
2	75	84	9	112.0%
3	119	108	△11	90.8%
合 計	993	1,091	98	109.9%

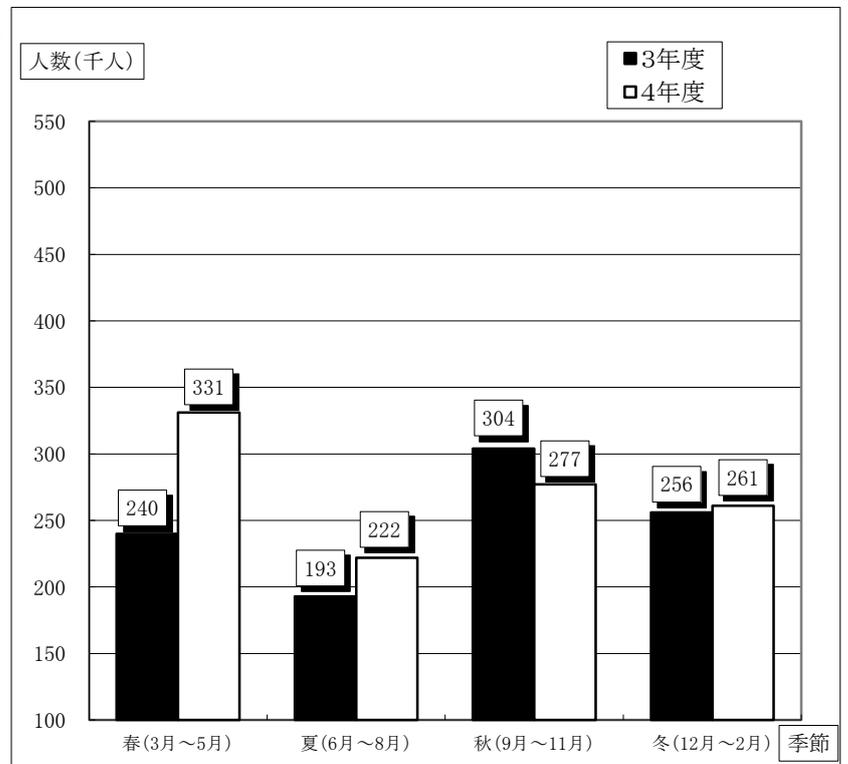


〈表3〉

季 節 別 入 込 数

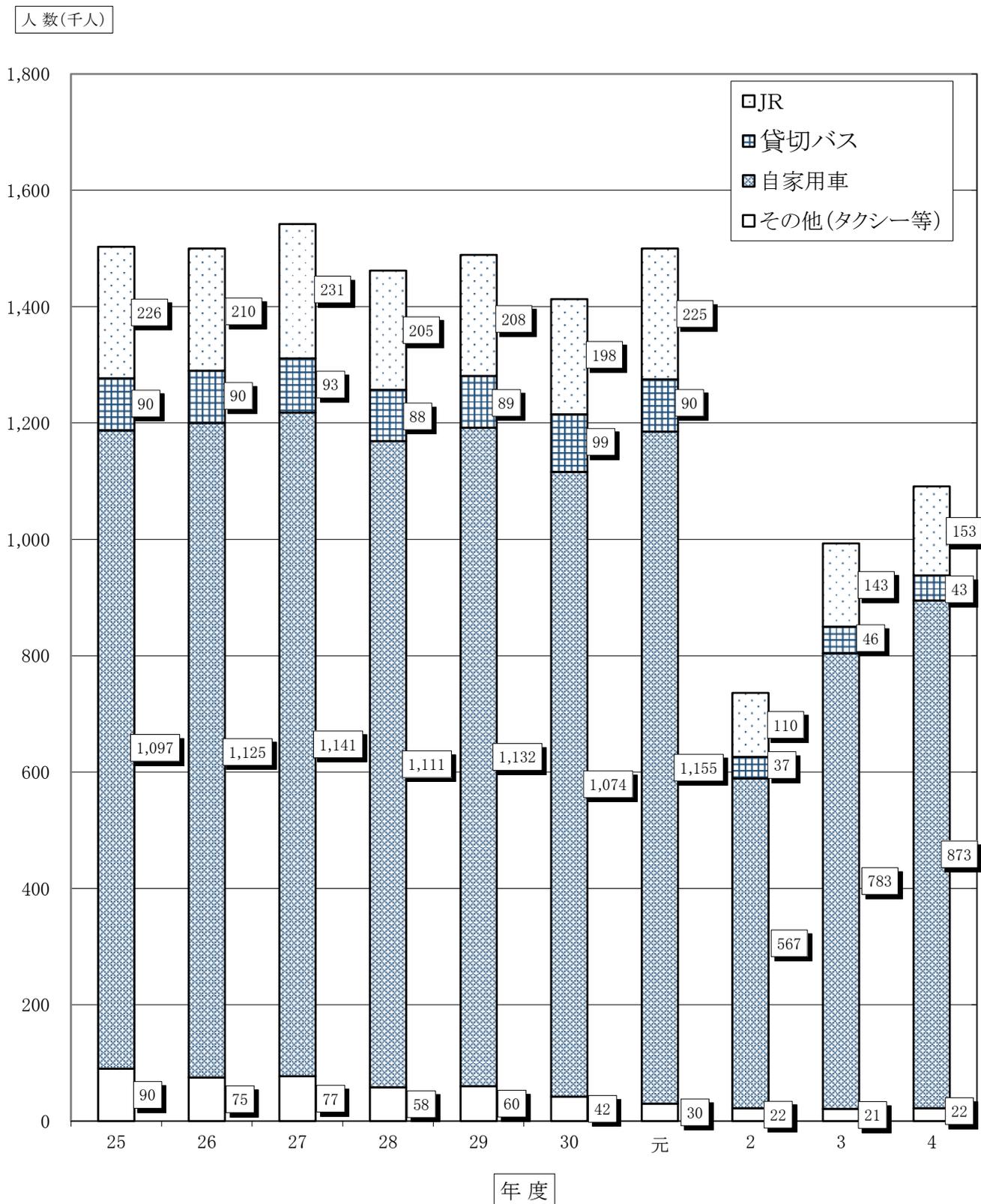
(千人)

季節	3年度	4年度	増減	対前年比
春(3月～5月)	240	331	91	137.9%
夏(6月～8月)	193	222	29	115.0%
秋(9月～11月)	304	277	△27	91.1%
冬(12月～2月)	256	261	5	102.0%
合 計	993	1,091	98	109.9%



〈表4〉

利用交通機関別入込数

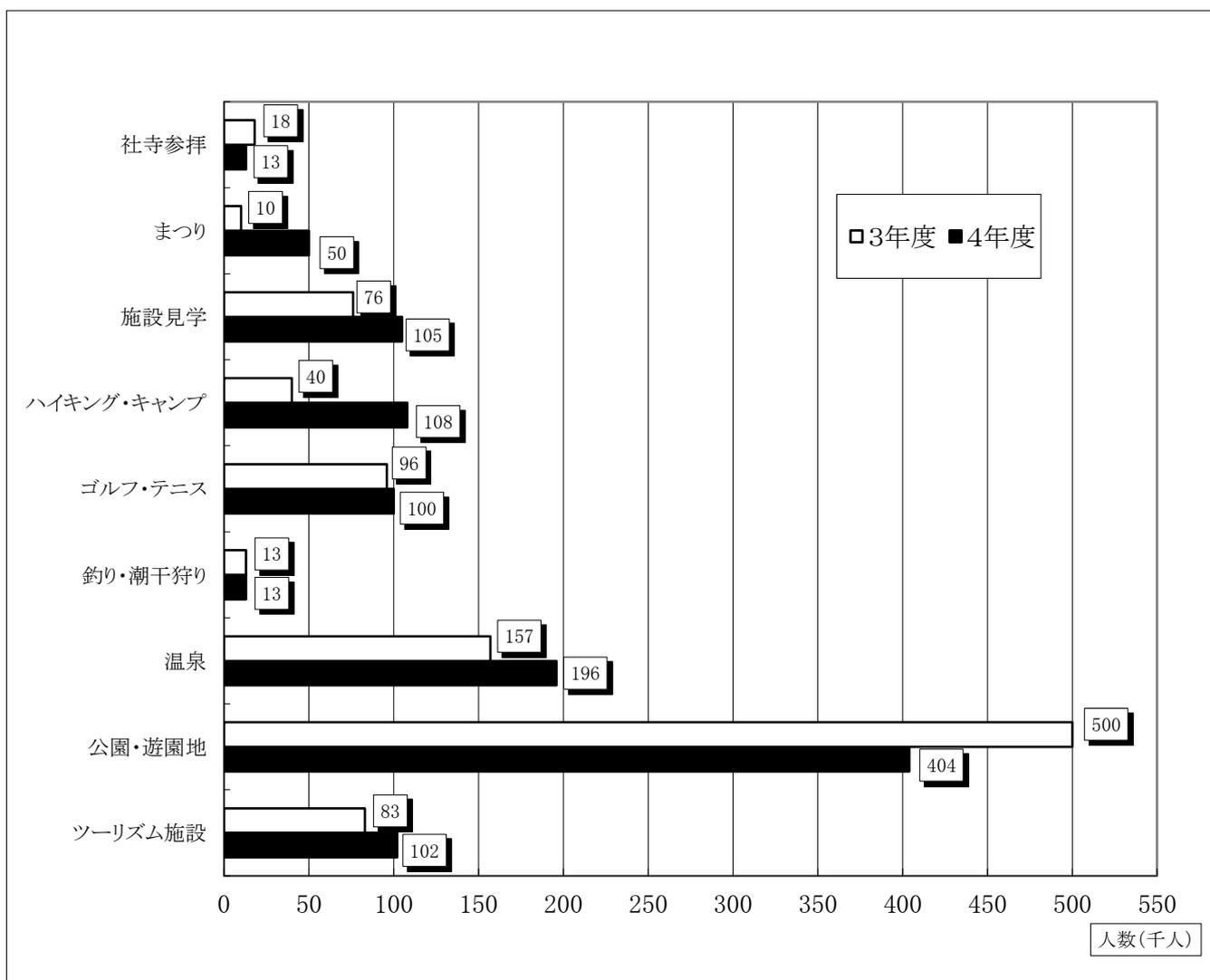


〈表5〉

目的別入込数

(千人・%)

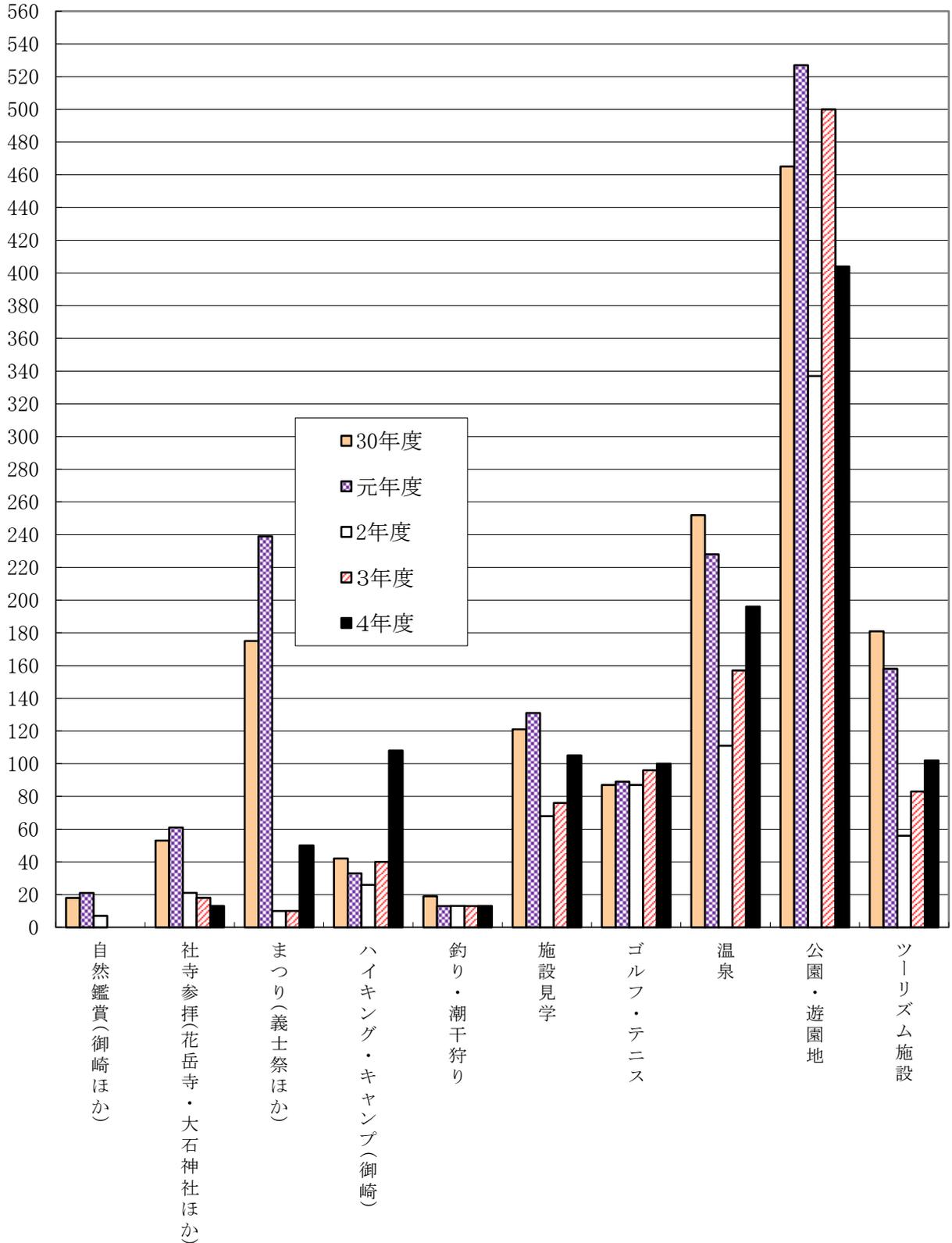
区分	内容	3年度		4年度		増減	対前年度比
		入込数	構成比	入込数	構成比		
鑑賞型	社寺参拝	18	2%	13	1%	△5	72.2%
	まつり	10	1%	50	5%	40	500.0%
	施設見学	76	8%	105	10%	29	138.2%
小計		104	11%	168	16%	64	161.5%
スポーツ型	ハイキング・キャンプ	40	4%	108	10%	68	270.0%
	ゴルフ・テニス	96	10%	100	9%	4	104.2%
小計		136	14%	208	19%	72	152.9%
行楽型	釣り・潮干狩り	13	1%	13	1%	0	100.0%
	温泉	157	16%	196	18%	39	124.8%
	公園・遊園地	500	50%	404	37%	△96	80.8%
小計		670	67%	613	56%	△57	91.5%
体験型	ツーリズム施設	83	8%	102	9%	19	122.9%
合計		993	100%	1,091	100%	98	109.9%



〈表6〉

最近5年間の目的別入込数

人数(千人)



令和4年度兵庫県観光客動態調査結果（速報）

1 観光入込客数

令和4年度の観光入込客数は、前年度を2,886万人上回る**1億1,145万人(+33.7%)**となった。

<令和4年度の主なトピックス>

- ・「ひょうごを旅しようキャンペーン+（プラス）」（県民割）の実施 [3/22～10/10]
- ・「ひょうごを旅しようキャンペーン・ワイド」（全国旅行支援）の実施 [10/11～12/20]
- ※まん延防止等重点措置実施期間の解除 [3/21]

＜参考：調査対象＞	・調査対象期間	令和4年4月～令和5年3月
	・調査対象基準	年間入込客数10,000人以上もしくは特定月5,000人以上の施設等
	・調査対象地点数	約1,200地点

(1) 地域別の状況について

令和3年度に比べ、新型コロナウイルス感染症による人流抑制の影響が少なく、「ひょうごを旅しようキャンペーン+（プラス）」等の需要喚起策等の効果もあり、**全ての地域で前年度より増加**となった。

一方で、淡路を除く地域では令和元年度の水準には届いていないものの、阪神南、阪神北、北播磨、丹波では令和元年度比で約90%まで回復するなど地域毎で回復傾向が強く見られる結果となった。（単位：千人）

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	全県
令和4年度	24,257	13,291	17,401	7,366	13,502	8,356	4,919	8,005	4,590	12,816	114,503
令和3年度	14,180	9,493	14,961	6,232	11,380	5,412	4,277	6,056	4,069	9,588	85,647
令和元年度	35,420	14,727	18,935	9,848	13,941	10,366	6,187	9,409	5,072	12,603	136,508
対前年度比	10,077 +71.1%	3,798 +40.0%	2,440 +16.3%	1,134 +18.2%	2,122 +18.6%	2,944 +54.4%	642 +15.0%	1,949 +32.2%	521 +12.8%	3,228 +33.7%	28,856 +33.7%
対令和元年度比	▲11,163 ▲31.5%	▲1,436 ▲9.8%	▲1,534 ▲8.1%	▲2,482 ▲25.2%	▲439 ▲3.1%	▲2,010 ▲19.4%	▲1,268 ▲20.5%	▲1,404 ▲14.9%	▲482 ▲9.5%	213 +1.7%	▲22,005 ▲16.1%

地域	対前年度比	主な増減要因
神戸	+1007.7万人 (+71.1%)	・有馬温泉では入国制限の緩和により外国人観光客が回復、市立博物館では企画展の開催等により利用客が回復した影響により大幅に増加。
阪神南	+379.8万人 (+40.0%)	・阪神甲子園球場での観客制限の撤廃や、西宮神社等多くの施設で利用客が回復した影響により大幅に増加。
阪神北	+244.0万人 (+16.3%)	・宝塚北サービスエリアや等多くの施設において利用客が回復、昨年度のゴールデンウィーク期間に休園していた施設が令和4年度に開園したことにより大幅に増加。
東播磨	+113.4万人 (+18.2%)	・明石公園や高砂市総合運動公園等多くの施設において、イベントの再開、有観客利用が可能となり利用客が回復したため増加。
北播磨	+212.2万人 (+18.6%)	・東条湖おもちゃ王国や道の駅みき等の来場者が回復した影響により大幅に増加。
中播磨	+294.4万人 (+54.4%)	・好古園等や特に姫路城では入国制限の緩和により外国人観光客が回復した影響により大幅に増加。
西播磨	+64.2万人 (+15.0%)	・たつの市民まつりが3年ぶりに開催されたことや赤穂温泉の利用客が回復した影響により増加。
但馬	+194.9万人 (+32.2%)	・城崎温泉等多くの施設の利用客の回復、前年度まで中止されていた花火大会等が再開された影響により増加。
丹波	+52.1万人 (+12.8%)	・アウトドア施設の需要増加、道の駅丹波おぼあちゃんの里で利用客が回復した影響により増加。
淡路	+322.8万人 (+33.7%)	・淡路ファームパークイングランドの丘、淡路ハイウェイオアシス等の利用客が回復した影響により大幅に増加。

(2) 日帰・宿泊別等の入込状況

日帰客が1億360万人(+33.0%、全体比90.5%)、宿泊客が1,091万人(+41.1%、全体比9.5%)となり、全ての地域で日帰客、宿泊客ともに増加となった。

(単位:千人)

区 分	令和4年度		令和3年度		令和元年度		対前年度 増減	対前年度 比	対令和元年度 増減	対令和元年度 比	
	入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比					
全 県	総入込数	114,503	100.0%	85,647	100.0%	136,508	100.0%	28,856	33.7%	▲22,005	▲16.1%
	日帰客	103,596	90.5%	77,917	91.0%	124,668	91.3%	25,679	33.0%	▲21,072	▲16.9%
	宿泊客	10,907	9.5%	7,730	9.0%	11,840	8.7%	3,177	41.1%	▲933	▲7.9%
神 戸	総入込数	24,257	100.0%	14,180	100.0%	35,420	100.0%	10,077	71.1%	▲11,163	▲31.5%
	日帰客	20,326	83.8%	11,455	80.8%	30,650	86.5%	8,871	77.4%	▲10,324	▲33.7%
	宿泊客	3,931	16.2%	2,725	19.2%	4,770	13.5%	1,206	44.3%	▲839	▲17.6%
阪 神 南	総入込数	13,291	100.0%	9,493	100.0%	14,727	100.0%	3,798	40.0%	▲1,436	▲9.8%
	日帰客	12,729	95.8%	9,020	95.0%	14,036	95.3%	3,709	41.1%	▲1,307	▲9.3%
	宿泊客	562	4.2%	473	5.0%	691	4.7%	89	18.8%	▲129	▲18.7%
阪 神 北	総入込数	17,401	100.0%	14,961	100.0%	18,935	100.0%	2,440	16.3%	▲1,534	▲8.1%
	日帰客	17,083	98.2%	14,706	98.3%	18,567	98.1%	2,377	16.2%	▲1,484	▲8.0%
	宿泊客	319	1.8%	254	1.7%	368	1.9%	65	25.6%	▲49	▲13.3%
東 播 磨	総入込数	7,366	100.0%	6,232	100.0%	9,848	100.0%	1,134	18.2%	▲2,482	▲25.2%
	日帰客	6,890	93.5%	5,832	93.6%	9,372	95.2%	1,058	18.1%	▲2,482	▲26.5%
	宿泊客	476	6.5%	400	6.4%	476	4.8%	76	19.0%	0	0.0%
北 播 磨	総入込数	13,502	100.0%	11,380	100.0%	13,941	100.0%	2,122	18.6%	▲439	▲3.1%
	日帰客	12,991	96.2%	11,016	96.8%	13,383	96.0%	1,975	17.9%	▲392	▲2.9%
	宿泊客	511	3.8%	364	3.2%	558	4.0%	147	40.4%	▲47	▲3.4%
中 播 磨	総入込数	8,356	100.0%	5,412	100.0%	10,366	100.0%	2,944	54.4%	▲2,010	▲19.4%
	日帰客	6,999	83.8%	4,706	87.0%	9,385	90.5%	2,293	48.7%	▲2,386	▲25.4%
	宿泊客	1,357	16.2%	706	13.0%	981	9.5%	651	92.2%	376	38.3%
西 播 磨	総入込数	4,919	100.0%	4,277	100.0%	6,187	100.0%	642	15.0%	▲1,268	▲20.5%
	日帰客	4,242	86.2%	3,783	88.4%	5,566	90.0%	459	12.1%	▲1,324	▲23.8%
	宿泊客	677	13.8%	494	11.6%	621	10.0%	183	37.0%	56	9.0%
但 馬	総入込数	8,005	100.0%	6,056	100.0%	9,409	100.0%	1,949	32.2%	▲1,404	▲14.9%
	日帰客	6,365	79.5%	4,902	80.9%	7,489	79.6%	1,463	29.8%	▲1,124	▲15.0%
	宿泊客	1,640	20.5%	1,154	19.1%	1,920	20.4%	486	42.1%	▲280	▲14.6%
丹 波	総入込数	4,590	100.0%	4,069	100.0%	5,072	100.0%	521	12.8%	▲482	▲9.5%
	日帰客	4,384	95.5%	3,891	95.6%	4,858	95.8%	493	12.7%	▲474	▲9.8%
	宿泊客	206	4.5%	178	4.4%	214	4.2%	28	15.7%	▲8	▲3.7%
淡 路	総入込数	12,816	100.0%	9,588	100.0%	12,603	100.0%	3,228	33.7%	213	1.7%
	日帰客	11,587	90.4%	8,606	89.8%	11,362	90.2%	2,981	34.6%	225	2.0%
	宿泊客	1,229	9.6%	982	10.2%	1,241	9.8%	247	25.2%	▲12	▲1.0%

<参考：目的別の入込状況>

(単位:千人)

区 分	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
総入込客数	114,503	24,257	13,291	17,401	7,366	13,502	8,356	4,919	8,005	4,590	12,816
自 然	2,529	424	66	174	109	328	493	137	358	56	383
歴 史・文 化	25,022	3,100	4,397	5,247	1,881	1,099	2,611	515	1,881	514	3,776
温 泉・健 康	6,386	218	0	1,000	261	654	371	734	1,853	291	1,006
ス ポー ツ・レ クリ エー シ ョ ン	35,775	2,288	3,860	6,700	3,681	7,802	2,179	1,574	1,502	1,533	4,657
都 市 型 観 光	17,566	12,313	0	548	915	714	323	32	290	1,494	938
そ の 他 (道 の 駅 等)	13,484	433	370	3,439	300	2,331	1,001	1,396	1,747	513	1,955
行 祭 事・イ ベ ン ト	13,742	5,482	4,599	294	218	574	1,378	532	374	189	102

○令和4年度の地域別

(単位:千人)

目的	令和4年度		令和3年度		令和元年度		対前年度 増減	対前年度 比	対令和元年度 増減	対令和元年度 比
	入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比				
総入込客数	114,503	100.0%	85,647	100.0%	136,508	100.0%	28,856	33.7%	▲22,005	▲16.1%
自 然	2,529	2.2%	1,963	2.3%	2,848	2.1%	566	28.8%	▲319	▲11.2%
歴 史・文 化	25,022	21.9%	19,791	23.1%	29,456	21.6%	5,231	26.4%	▲4,434	▲15.1%
温 泉・健 康	6,386	5.6%	4,946	5.8%	6,792	5.0%	1,440	29.1%	▲406	▲6.0%
ス ポー ツ・レ クリ エー シ ョ ン	35,775	31.2%	30,452	35.6%	36,626	26.8%	5,323	17.5%	▲851	▲2.3%
都 市 型 観 光	17,566	15.3%	12,938	15.1%	20,064	14.7%	4,628	35.8%	▲2,498	▲12.5%
そ の 他 (道 の 駅 等)	13,484	11.8%	10,657	12.4%	15,117	11.1%	2,827	26.5%	▲1,633	▲10.8%
行 祭 事・イ ベ ン ト	13,742	12.0%	4,901	5.7%	25,605	18.7%	8,841	180.4%	▲11,863	▲46.3%

<参考：四季別の入込状況>

(単位：千人)

年度	令和4年度入込客数		令和3年度入込客数		令和元年度入込客数		対前年度 増減	対前年度 比	対令和元年度 増減	対令和元年度 比
	入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比				
四季	114,503	100.0%	85,647	100.0%	136,508	100.0%	28,856	33.7%	▲ 22,005	▲16.1%
総入込客数	114,503	100.0%	85,647	100.0%	136,508	100.0%	28,856	33.7%	▲ 22,005	▲16.1%
春(4月～6月)	27,332	23.9%	15,879	18.5%	35,322	25.9%	11,453	72.1%	▲ 7,990	▲22.6%
夏(7月～9月)	27,810	24.3%	20,621	24.1%	33,710	24.7%	7,189	34.9%	▲ 5,900	▲17.5%
秋(10月～12月)	28,735	25.1%	24,380	28.5%	35,495	26.0%	4,355	17.9%	▲ 6,760	▲19.0%
冬(1月～3月)	30,627	26.7%	24,768	28.9%	31,981	23.4%	5,859	23.7%	▲ 1,354	▲4.2%

○令和4年度の地域別

(単位：千人)

区分	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
総入込客数	114,503	24,257	13,291	17,401	7,366	13,502	8,356	4,919	8,005	4,590	12,816
春(4月～6月)	27,332	5,447	3,137	4,157	1,685	3,477	1,924	1,156	1,781	1,205	3,362
夏(7月～9月)	27,810	5,397	3,527	3,911	1,690	3,401	1,829	1,229	2,301	1,123	3,404
秋(10月～12月)	28,735	6,278	2,381	4,218	1,713	3,630	2,595	1,408	1,993	1,488	3,031
冬(1月～3月)	30,627	7,135	4,246	5,115	2,278	2,994	2,008	1,126	1,932	774	3,018

(3) 主要観光施設への入込客数 (非公表施設を除く)

令和4年3月21日のまん延防止等重点措置実施期間が解除された影響もあり、阪神甲子園球場が3年ぶりに1位となった。

令和4年度上位10施設 (単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	阪神甲子園球場 (西宮市)	3,500
2	伊弉諾神宮 (淡路市)	2,538
3	明石公園 (明石市)	2,252
4	宝塚北サービースエア (宝塚市)	2,202
5	西宮神社 (西宮市)	2,168
6	清荒神清澄寺 (宝塚市)	2,165
7	淡路ハイウェイオアシス (淡路市)	1,433
8	フルーツ・フラワーパーク (神戸市)	1,251
9	甲山森林公園 (西宮市)	1,132
10	三木総合防災公園 (三木市)	1,074

令和3年度上位10施設 (単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	伊弉諾神宮 (淡路市)	2,156
2	清荒神清澄寺 (宝塚市)	2,061
3	明石公園 (明石市)	1,993
4	西宮神社 (西宮市)	1,970
5	宝塚北サービースエア (宝塚市)	1,660
6	甲山森林公園 (西宮市)	1,313
7	中山寺 (宝塚市)	1,142
8	阪神甲子園球場 (西宮市)	1,139
9	フルーツ・フラワーパーク (神戸市)	1,092
10	三木総合防災公園 (三木市)	1,052

令和元年度上位10施設 (単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	阪神甲子園球場 (西宮市)	3,836
2	明石公園 (明石市)	3,136
3	清荒神清澄寺 (宝塚市)	3,020
4	宝塚北サービースエア (宝塚市)	2,625
5	西宮神社 (西宮市)	2,283
6	伊弉諾神宮 (淡路市)	2,010
7	淡路ハイウェイオアシス (淡路市)	1,550
8	姫路城 (姫路市)	1,548
9	中山寺 (宝塚市)	1,274
10	三木総合防災公園 (三木市)	1,074

(注) 社寺参拝・イベント等を含んで再集計しているため、過去に公表した順位と異なる場合があります。

2 経済波及効果等

(1) 県内観光消費額・観光産業県内総生産

令和4年度県内観光消費額(名目)は、**1兆1,427億円**(前年度比+38.9%)、観光産業の付加価値額である観光産業県内総生産(名目)は5,928億円(同+41.0%)である。

新型コロナウイルス感染症による人流抑制が緩和されたことで社会経済活動の両立が図られ「ひょうごを旅しようキャンペーン+ (プラス)」等の需要喚起策等の影響で、観光消費額は2年連続増加した。

また、物価変動を除いた観光産業県内総生産(実質)は、5,742億円(同+38.3%)、これは、実質県内総生産比2.5%である。

(単位：億円)

<区分>	県内観光消費額(名目) (※1)	観光産業県内総生産(※2)		県内総生産 (実質)(B)	県内総生産(実質)比 (C=A/B) (%)
		名目	実質(A)		
令和4年度	11,427	5,928	5,742	229,336	2.5
令和3年度	8,229	4,203	4,150	223,361	1.9
令和元年度	12,312	6,985	6,882	222,083	3.1
対前年度比(%)	+38.9%	+41.0%	+38.3%	+2.7%	-
対令和元年度比(%)	▲7.2%	▲15.1%	▲16.6%	3.3%	-

(出典)：兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」、兵庫県観光振興課「兵庫県観光客動態調査」、観光庁「旅行・観光消費動向調査」の単価等を用いて推計

※1 観光消費額 = 観光客数 × 観光消費単価(交通費、宿泊費、飲食費、買物代、その他)

※2 観光産業県内総生産 = 観光消費額 × 付加価値比率(兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」に基づく)
(名目) 実際に市場で取引されている価格(市場価格)に基づいて推計された値

(実質) 基準年次(平成27年:R4年1月改定)からの物価の変動分(上昇・低下)を名目値から取り除いた値

(2) 県内観光消費額の経済波及効果概要

「平成27年兵庫県産業連関表」をもとに推計した結果、県内観光消費額(1兆1,427億円)にかかる経済波及効果(生産誘発額)は、**1兆6,845億円**(前年度比+38.9%)、県内観光消費により新たに生み出された付加価値誘発額は、9,699億円(同+38.9%)、創出された就業者誘発数は、17万4千人(同+39.3%)となった。

兵庫県内観光消費額の経済波及効果概要

(単位：億円、人)

項目	令和4年度	令和3年度	令和元年度	対前年度比(%)	対令和元年度比(%)	備考
経済波及効果(生産誘発額)	16,845	12,127	18,100	38.9	▲6.9	経済効果(売上額の合計)
直接効果	11,427	8,229	12,312	38.9	▲7.2	観光消費額(実観光客数×消費単価)
間接効果	5,418	3,898	5,788	39.0	▲6.4	原材料、消費支出から誘発効果
付加価値誘発額(GDP相当)	9,699	6,984	10,071	38.9	▲3.7	(売上額-経費等)の合計
就業者誘発数	174,392	125,220	207,895	39.3	▲16.1	就業者(個人業主、雇業者等)に換算

※ 兵庫県統計課「平成27年兵庫県産業連関表」を用いて推計

※ 経済波及効果(=直接効果+間接効果)
・直接効果：県内観光消費額
・間接効果：原材料や消費支出からの波及(産業連関分析により推計)

(注)・端数処理のため、資料中の表の内訳と合計は必ずしも一致しません。

・県内観光消費額等は推計時点の最新の統計資料を用いて推計しているため、過去に公表した数字と異なる場合があります。

< 参考資料 1 >

地域別主要施設・イベントの入込状況

(単位:千人)

地域別	観光地・イベント名	令和4年度	令和3年度	令和元年度	対前年度増減	対前年度比	対令和元年度増減	対令和元年度比
神戸	フルーツ・フラワーパーク	1,251	1,092	1,275	159	14.6%	▲ 24	▲ 1.9%
	風見鶏の館	152	72	220	80	111.1%	▲ 68	▲ 30.9%
	王子動物園	838	739	1,109	99	13.4%	▲ 271	▲ 24.4%
	有馬温泉(金の湯等)	625	396	673	229	57.8%	▲ 48	▲ 7.1%
阪神南	阪神甲子園球場	3,500	1,139	3,836	2361	207.3%	▲ 336	▲ 8.8%
	尼崎城	59	38	211	21	55.3%	▲ 152	▲ 72.0%
	西宮神社	2,168	1,970	2,283	198	10.1%	▲ 115	▲ 5.0%
	廣田神社	572	569	565	3	0.5%	7	1.2%
阪神北	道の駅いながわ	598	579	628	19	3.3%	▲ 30	▲ 4.8%
	宝塚北サービスエリア	2,202	1,660	2,625	542	32.7%	▲ 423	▲ 16.1%
	有馬富士公園	796	820	774	▲ 24	▲ 2.9%	22	2.8%
	伊丹スカイパーク	666	642	682	24	3.7%	▲ 16	▲ 2.3%
東播磨	明石公園	2,252	1,993	3,136	259	13.0%	▲ 884	▲ 28.2%
	八幡神社	206	235	235	▲ 29	▲ 12.3%	▲ 29	▲ 12.3%
	高砂市総合運動公園	200	137	160	63	46.0%	40	25.0%
	大中遺跡	182	143	196	39	27.3%	▲ 14	▲ 7.1%
北播磨	東条湖おもちゃ王国	326	202	424	124	61.4%	▲ 98	▲ 23.1%
	三木総合防災公園	1,074	1,052	1,074	22	2.1%	0	0.0%
	三木山森林公園	568	577	573	▲ 9	▲ 1.6%	▲ 5	▲ 0.9%
	道の駅とうじょう	702	655	675	47	7.2%	27	4.0%
中播磨	姫路城	957	444	1,548	513	115.5%	▲ 591	▲ 38.2%
	砥峰高原	99	111	80	▲ 12	▲ 10.8%	19	23.8%
	好古園	405	164	428	241	147.0%	▲ 23	▲ 5.4%
	アクリエひめじ	393	188	-	205	109.0%	皆増	皆増
西播磨	赤穂温泉	196	157	228	39	24.8%	▲ 32	▲ 14.0%
	揖保乃糸資料館そうめんの里	81	61	98	20	32.8%	▲ 17	▲ 17.3%
	道の駅みつ	287	297	300	▲ 10	▲ 3.4%	▲ 13	▲ 4.3%
	ちくさ高原スキー場	66	75	19	▲ 9	▲ 12.0%	47	247.4%
但馬	城崎温泉外湯めぐり	722	501	827	221	44.1%	▲ 105	▲ 12.7%
	湯村温泉	163	109	183	54	49.5%	▲ 20	▲ 10.9%
	県立但馬牧場公園	157	151	143	6	4.0%	14	9.8%
	神鍋高原スキー場	84	140	23	▲ 56	▲ 40.0%	61	265.2%
丹波	丹波並木道中央公園	294	197	159	97	49.2%	135	84.9%
	大正ロマン館	193	146	141	47	32.2%	52	36.9%
	道の駅丹波おばあちゃんの里	394	252	370	142	56.3%	24	6.5%
	丹波年輪の里	162	146	162	16	11.0%	0	0.0%
淡路	伊弉諾神宮	2,538	2,156	2,010	382	17.7%	528	26.3%
	淡路ハイウェイオアシス	1,433	973	1,550	460	47.3%	▲ 117	▲ 7.5%
	洲本温泉	440	401	481	39	9.7%	▲ 41	▲ 8.5%
	淡路島公園	914	731	636	183	25.0%	278	43.7%

< 参考資料 2 >

主要観光施設(※)の入込客数の対2019年比（月別）

2022(R4)年の主要観光施設における観光入込客数の2019年同月比は、順調な回復傾向にあり、2023(R5)年の7月、10月は2019年の入込客数を上回る結果となった。



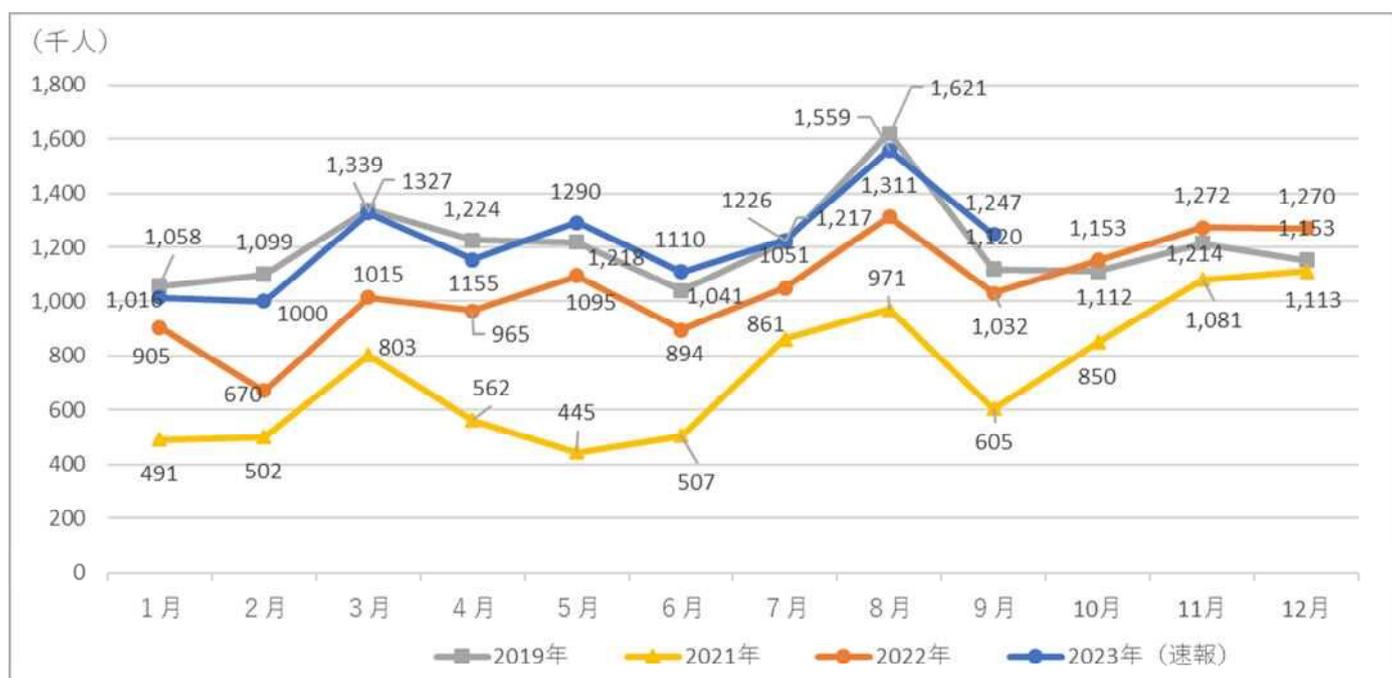
出典：兵庫県調べ ※地域毎の主要観光施設（約60地点）を調査

< 参考資料 3 >

県内延べ宿泊者数の推移（月別）

2022(R4)年は、まん延防止等重点措置が解除された3月以降、需要喚起策が効を奏して回復傾向にあり、全国旅行支援の実施期間である10月から12月においては、コロナ前の2019(R1)年を上回った。

2023(R5)年は5月以降、台風の影響があった8月を除き、2019(R1)年を上回る水準で推移している。



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

令和4年度 赤穂市観光客動態調査報告書

発行 (一社) あこう魅力発信基地・赤穂市
